

コア通信 Vol.68

2022年
9月発行

まだまだ残暑が厳しいこの頃ですが、
コア通信「最新号」のお届けです。

音楽と映像を皆様にお届けする
サウンドオフィス・コアのニュースレターです

「季節に合うおすすめの1曲」

9月 「三日月」

2006年9月に発売された絢香の4枚目のシングルで、遠距離恋愛をテーマにしたバラード。その年の日本レコード大賞最優秀新人賞を受賞し、紅白歌合戦にも出場した。三日月は携帯電話の形状そのものの比喩ともなっていて、離れていても同じ月を見上げてつながりを感じる描写と、相手の声を聞こうと携帯電話に手を伸ばす描写を重ねている。切なくも力強さを秘めた歌声で幅広い世代から支持される、絢香の代表曲。

10月 「クシコス・ポスト」

ドイツの作曲家ヘルマン・ネッケによって作曲された。「クシコス」とはハンガリー語で「馬に乗る人」、「ポスト」は「郵便」なので、合わせて「郵便馬車」という意味。吹奏楽やオーケストラで演奏されるものが有名だが、元はピアノ曲。日本では運動会でよく親しまれ、躍動的な曲調がかげっこにピッタリな曲。



QRコードから
演奏が聴けます



心に響く一曲 ボヘミアン ♪ 葛城ユキ

1983年5月にシングル・カットされた葛城ユキの大ヒット曲。チャゲ&飛鳥の飛鳥涼が作詞、ブルー・コメッツで活躍した井上大輔が作曲した。歌詞に出てくるタロットカードは、西欧では古くから根付いていたものの、この曲のヒットにより、日本でも広く認識されるようになったと言われている。ハードなサウンドと一度聴いたら忘れられないパンチのあるハスキーボイス、女性の情念を歌いこむ歌詞がマッチし、41万枚の大ヒットとなった。2003年には番組収録中の事故で大けがを負うも、リハビリを経て翌年には復活。その後も精力的にライブ活動を行い、今年6月27日に亡くなる10日前までステージに立ち続け、「生涯現役」を貫いた。

ボヘミアン 破れかけのタロット投げて 今宵もあなたの行方占ってみる

ボヘミアン 身の程知らぬ恋でしょう か 幸福せもとめちゃいけないでしょう か

(日本音楽著作権協会(出)許諾 第2203869-201)

生演奏の魅力とは？

皆さんはCD音源と生演奏の違いは何だと考えますか？

「音楽が流れるんだからどちらも一緒でしょ？」

「生演奏は堅苦しいから気軽に聴けるCDの方が良い！」もちろんどちらも間違いではありません。しかし、自分の世界だけで楽しんでいた音楽を、実際に生の演奏で聴くとその迫力やライブ感に印象が変わることもあります。アーティストが演奏している動きなどを間近で見ることで、視覚から得られる臨場感も味わえることでしょう。

また、非日常的で特別な空間を味わえるのも魅力の一つです。多くの方は、生演奏に接する機会は少なく、普段にはない高級感を感じることが出来るのです。

サウンドオフィス・コアのアーティストも、結婚式やイベントでは喜びや楽しさ、ご葬儀では哀しみに寄り添い、そのシーンに合わせたアレンジで演奏を提供しています。CDやデジタル音源では表現しきれない「生の音」が感じられる。それこそが生演奏の最大の魅力なのです。

8月11日東京ウィメンズプラザにてサマーコンサートを開催しました。

ご来場いただき、ありがとうございます！

これからも、生演奏の魅力を発信続けてまいります。

♪ 編集後記 ♪

最近バスに乗る機会が多いのですが、乗る際に運転士さんに「お願いします。」と声をかけています。運転士さんも「ありがとうございます。」と返してくれることが多く、降りる際には「気を付けて」と言ってくださることも。小さな事だけど、挨拶は大事ですね。

♪リリィ



かたらい葬®・思い出スクリーン®の

サウンドオフィス・コア

〒202-0012 東京都西東京市東町3-13-21
クレストコート保谷403

TEL:042-421-7150 FAX:042-422-0894
HPアドレス: www.so-koa.jp

